

## 災害復旧活動を円滑に支援するために！ 災害対策用機械の操作訓練【6月期】を実施しました

関東技術事務所では、地震や洪水等による被害軽減及び円滑に災害復旧活動を支援するため、災害対策用機械を保有しています。

この機械を緊急時適切に運用・操作できるように、職員による操作訓練を定期的実施しています。

- ◆日時：平成26年6月25日(水)
- ◆場所：千葉県船橋市東船橋5-2-1  
(関東地方整備局 関東技術事務所 船橋防災センター)
- ◆参加者：13名(関東技術事務所職員、災害時協定会社社員)
- ◆講習機械：排水ポンプ車、照明車、対策本部車、待機支援車



実際の災害時に出勤頻度が特に高い災害対策車両(排水ポンプ車、照明車、対策本部車、待機支援車)をセットメニューとして4月から出水期を迎える6月まで、毎月訓練を実施してきました。それにより操作員各員が「かなり習熟度も増した」と実感しています。

セットメニューでの訓練は今月で一旦終了とし、来月からはより実践的な訓練や、他の災害対策車両などの訓練に取りかかる予定です。

今後も引き続き、様々な機種 of 操作訓練を継続しておこない、災害出動に備えます。

### 参加者の声

- 災対車の操作方法を知らない人に、操作方法を教える事ができるレベルまで習得できたと感じる。
- 災害時は夜間や土砂降りの降雨など、作業条件が良くないケースが多いだろうが、そのような悪条件のなかでも、落ち着いて訓練結果を発揮していきたい。

## 今回操作訓練対象機器の概要

◎排水ポンプ車 : 大雨時に住宅地などの浸水被害を軽減します。



この排水ポンプ車1台で必要機材の運搬～排水運転まで可能



ポンプとフロートを接続



訓練用水槽にポンプを投入

◎照明車 : 災害時、明かりのない現場での夜間作業用にサポートします。  
 今回は 2柱式とブーム式を訓練しました。



2柱式



2柱式



ブーム式

◎対策本部車 : 災害現場近くに設置・展開(拡幅)し、現地での打合せスペースとして使用します。



内部が会議スペースに！机を組立て、イスを出して打合せ。通信設備も装備！

◎待機支援車 : 宿泊施設のない現場でスタッフの仮眠場所として使用します。



車内に9床のベッドを備えています



車両のエンジンを止めても発電機により車内へ電力(照明・空調等)を供給できます